



転んだ！ぶつけた！？ 子どもの歯のケガ

歯のケガは、元気いっぱいなお子さんにはつねに隣り合わせのトラブル。
ですが、むし歯と比べて一般のかたに知られていないことが多いせいか、すぐに歯科を受診されなかつたり、途中で経過観察に来院されなくなったりして、せっかく残せたはずの歯がダメになってしまうことも…

そこで今回は、歯のケガの治療を成功させるために大切なことをまとめました！



歯をケガすることの多い年齢は
乳歯では **1～3歳**、永久歯では
7～9歳。
男子のほうが女子の**約2倍多い**！



歯のケガの原因
第1位 「転倒」
第2位 「衝突」
第3位 「転落」

歯をケガしたときこれだけは押さえて！！

歯が抜けた場合

- 歯のケガのうち、**緊急度No.1**。抜けた永久歯は早く植え直してもらおうほど、元に戻る可能性が高まります。時間との闘いなので **3時間以内**には受診しましょう！
- 乳歯が抜けた場合は、永久歯への影響も考えられますので、受診をおすすめします！

歯が欠けた、折れた場合

- 歯のかけらを見つけたら、牛乳に入れるなどして、乾燥を防いで歯科医院にお持ちください。
- 歯の神経(歯髄)を守るためには1日以内に受診するのがおすすめです。半日くらいたつと痛みが強まることが多いので放置は危険です。

歯がグラグラする、噛むと痛い場合

- 歯が抜けかけていたり、歯の根っこや歯を支えるあごの骨が骨折している可能性があります。
- 外れそうな歯を飲みこまないように注意して、少なくとも3日以内に受診してください。

くちびるや歯ぐきが切れた場合

- 傷口を清潔なガーゼなどで軽く押さえて止血します。腫れを防ぐために氷で30分冷やします。
- 土やアスファルトなどの細かい異物はその日のうちに歯科医院で十分に洗浄してもらいましょう。



★適切な応急処置は、よりよく治るためにとっても大切です★